

第1学年 外国語（英語）科

1 年間学習計画

学期	月	単元	内容	教科書・教材等
前期	4	Introduction	小学校内容との連携	(ALTとのコミュニケーション授業) Speaking Lesson 教科書 ・NEW HORIZON (東京書籍) 副教材 ・英語のパートナー (正進社) ・英語ノートA (明治図書) ・テストっち (正進社)
	5	1 st Round	Listeningによる概要理解	
		2 nd Round	Listeningによる音と文字の一致 Readingによる概要理解	
	6	3 rd Round	Readingによる詳細理解・音読・文法理解	
	7			
	9			
後期	10	3 rd Round	Readingによる詳細理解・音読・文法理解	
	11	4 th Round	暗唱・文法の整理・練習	
	12			
	1			
	2	5 th Round	Retelling・文法の整理・練習	
3				

2 観点別評価・評定・具体的な手立て

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 アチーブメントテスト パフォーマンステスト 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 アチーブメントテスト パフォーマンステスト ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 アチーブメントテスト パフォーマンステスト ワークシート 家庭学習 小テスト
評価規準例	<ul style="list-style-type: none"> 英語の特徴やきまりを理解し、活用できる。 実際のコミュニケーションにおいて日常的な話題について事実や自分の考えなどを、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりできる。 日常的な話題について話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について事実や自分の考えなどを、簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりして表現したり伝え合ったりできる。 日常的な話題について話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、必要な情報や概要、要点などを捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常な話題について、目的や場面、状況などに応じて、事実や自分の考えを簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしようとしている。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について話されたり書かれたりする文章を聞いたり読んだりして、必要な情報や概要、要点を捉えようとしている。 言語活動の取り組みに関して見通しを立てたり振り返ったりして自ら主体的に学習している。
具体的な手立て	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文や授業で学んだ語彙を身に付ける。 教科書本文や授業で学んだ文法・文構造を理解しノートにまとめ、問題演習を行う。 基本文を暗記する。 教科書本文の音読を行う。 教科書本文を転写する。 授業で学んだ文法を活用し、文章を書いたり、話したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文や授業で学んだ文法・文構造がどのような場面で活用できるか考え、ノートにまとめる。実際に英文を作成する。 教科書本文の音声聞き、意味や場面に応じて強勢等がどのように工夫されているか見つけ真似る。 書かれた文章の構成を分析し、状況や場面に応じた適切な文章構成の方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内での言語活動に、常に諦めずに取り組む。 毎授業の振り返りを行い、学習の成果と課題を捉え、目標を設定し、様々な学習方法に挑戦し適した学習方法を身に付ける。 すべてのテスト結果を分析し、自分の弱点を見つけ、効率的に家庭学習を行う。

3 アドバイス

<p>(1) 授業中</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業のモチものを必ずもってくる。 毎授業真剣に取り組む、振り返りをして次の学習活動につなげる。 小テスト・毎回の宿題に対し必ず全力で取り組む。 <p>(2) 家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業で出た課題を丁寧に行う。 家庭学習では常にGoalを設定し、かかった時間や効果を必ず確認して、効果的な学習ができるよう日々心掛ける。
--

